

中央大学国際経営学部 企業訪問報告書

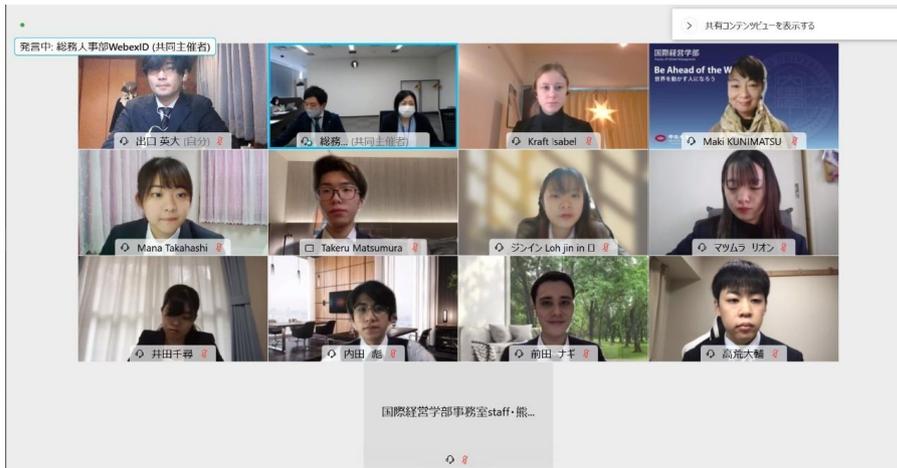
調査テーマ	国際物流業界のフォワーダーとしてグローバルに働く方々のお話を聞く
調査日	2021年1月12日 13:00~17:30
調査先	株式会社阪急阪神エクスプレス 総務人事部 人事課長 小林 智恵子 氏 総務人事部 菊池 開 氏 総務人事部 藤間 元基 氏 海外業務部 伊藤 由希 氏 海外業務部 渡辺 梓 氏 HANKYU HANSHIN EXPRESS (MALAYSIA) SDN. BHD. Managing Director 広瀬 太一 氏
担当教員身分・氏名	准教授 国松麻季
授業科目/学部企画名	訪問調査(「企業訪問」)
参加学生数(学年)	2年生 10名
調査趣旨・目的	阪急阪神エクスプレスの全体像、業務内容、海外事業部の目標やミッション、中央大学卒業生の職員からキャリアなどについてご説明を聞き、質疑応答を行う。
調査結果	<p>総務人事部の菊池氏が進行を務め、総務人事部藤間氏より国際物流企業についてから始まり、阪急阪神エクスプレスの事業や役職についてプレゼンテーションをしていただき、合間に事前にお送りした質問についても答えていただいた。その後、海外業務部の伊藤氏、渡辺氏より業務内容や海外代理店について、日々意識していることなどをプレゼンテーションしていただいた。最後に、マレーシアで駐在されている中央大学卒業生の広瀬氏より、主にこれまでのキャリアについてお話していただき、学生からの質問にもお答えいただいた。</p> <p>最初の藤間氏のプレゼンテーションでは、物流業界の企業の種類の中で阪急阪神エクスプレスはフォワーダーに当たること、フォワーダーの強みなどからお話しいただいた。事業や役職も一つずつご説明いただき、丁寧なプレゼンテーションによって学生はより理解を深めることができた。海外業務部の渡辺氏からは、実際の海外代理店とのやり取りのメールを例に挙げて、職務中の気づきについてお話していただいた。さらに、海外代理店とのやり取り中に心掛けていることや、大学生時代にやっておくべきことなどもお話しいただき、グローバルに活躍されるお話は学生の関心を刺激した。そして、マレーシアに駐在されている広瀬氏との座談会という形でこれまでのキャリアや、海外勤務での醍醐味などについてお話しいただき、常に学び続けているという姿勢を学生に見せてくださった。さらに、小</p>

林氏からは学生の質問に答え、通関士資格取得に際しての勉強方法を実体験に基づきお話しいただいた。

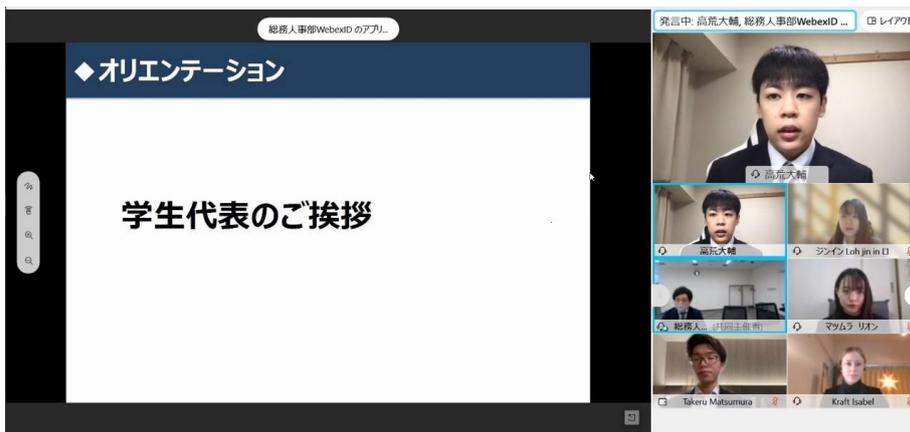
今回は、実際にオフィス訪問させていただく予定だったが、情勢に合わせ、急遽オンラインでの開催に切り替えるというご対応をしてくださった。学生の事後レポートからは、訪問中のお話だけでなく、オンライン開催への変更を余儀なくされる状況の中、当初のスケジュール通りに進行される姿からも多く学ばせていただいたとの報告もあった。

※調査時の写真

オンライン訪問の様子



学生代表からの挨拶



藤間氏によるプレゼンテーション



1. 国際航空貨物輸送

国から国へモノを運ぶ最速手段

タイムリーに必要とされる貨物、高付加価値な貨物
たとえば・・・緊急を要するモノ（納期遅れ・生鮮食品など）
精密機器 電子部品 医薬品・医療機器
試作品 動物 美術品 等

Zoom meeting interface showing a grid of participants and a 'MT' label.

渡辺氏によるプレゼンテーション



私が想像したCosmetics

HARUYO HANSON

Zoom meeting interface showing a grid of participants and a 'MT' label.